

平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月11日

上場会社名 株式会社 エービーシー・マート
 コード番号 2670 URL <http://www.abc-mart.co.jp/ir/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小島 穰

TEL 03-3476-5452

四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	92,382	12.2	19,157	8.6	18,933	3.3	13,576	34.4
22年2月期第3四半期	82,372	—	17,647	—	18,331	—	10,101	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	180.32	—
22年2月期第3四半期	134.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	111,784	78,494	67.8	1,006.50
22年2月期	99,400	67,088	65.7	867.68

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 75,784百万円 22年2月期 65,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	16.00	—	19.00	35.00
23年2月期	—	19.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	29.00	48.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

期末配当 29円00銭 普通配当 19円00銭 記念配当 10円00銭

詳細は、本日付で別途公表いたしました「配当予想の修正及び上場10周年記念配当に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	11.0	26,050	7.7	25,860	1.1	17,520	21.0	232.69

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 75,294,429株 22年2月期 83,627,318株
② 期末自己株式数 23年2月期3Q 72株 22年2月期 8,332,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 75,294,382株 22年2月期3Q 75,294,514株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
品目別売上実績	13
決算データ資料	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年11月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益に改善の兆しが見られる一方で、海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動、またデフレの影響などにより、先行きは依然不透明な状況のまま推移しております。

シューズ業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりによる低価格志向や節約志向は今もなお強く、業界全体としては厳しい環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、立地条件に対応した商品構成の見直しを行う一方で、価格訴求だけではなく円高メリットを「機能」や「素材」などのクオリティに反映し、“一段上のお買い得感”を幅広いカテゴリーで打ち出すなど、多様化するお客様の価値観により細かく対応できる商品訴求に注力いたしました。さらに、トレンドへの感度が高い女性の顧客層に対しては、リーズナブルな価格設定を継続しながらも、商品バリエーションを増やして新たなトレンド提案を行ったほか、健康志向を背景とした機能性のあるスポーツシューズの販促も強化し、消費者の購買意欲の喚起に注力してまいりました。また、当四半期においても積極的な出店を行い、国内については32店舗、当第3四半期連結累計期間（9ヵ月）で79店舗の新規出店を行いました。また、子会社が展開する韓国におきましても当四半期で5店舗、当四半期累計期間（9ヵ月）で13店舗の新規出店を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）における連結業績は、売上高は前年同期比12.2%増の923億82百万円、営業利益は前年同期比8.6%増の191億57百万円、経常利益は前年同期比3.3%増の189億33百万円、四半期純利益（9ヶ月）は前年同期比34.4%増の135億76百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 国内

商品面につきましては、低価格志向、買い控え傾向が続くなか、当四半期におきましてはカテゴリーごとに商品構成の見直しや価格設定に幅を持たせることであらゆるニーズに対応できるような商品訴求を行いました。レザーカジュアルシューズにつきましては、円高による為替メリットを品質に反映したメンズブーツを中心にファッショントレンドに沿った商品の販促に注力した結果、大きく販売足数を伸ばすなど幅広い顧客層へのアプローチに成功し、前年同期比14.6%増の124億73百万円となりました。また、ビジネスシューズにおきましても、機能性やデザイン性を付加したビジネスシューズが堅調に推移し、前年同期比15.0%増の68億5百万円となりました。一方、引き続き好調なレディースシューズにつきましては、より多くの顧客層に対してアプローチできるよう、リーズナブルかつバリエーション豊富な商品群を用意し、トレンド提案を軸とした販促に注力した結果、前年同期比9.3%増の121億13百万円となりました。

店舗展開におきましては、郊外ロードサイド店舗の積極出店、商業施設のリニューアルに伴う新規出店などを行った結果、当第3四半期連結累計期間（9ヵ月）での新規出店数は、79店舗となりました。この結果、当第3四半期決算期末時点（平成22年11月30日）で国内店舗数は572店舗（閉店14店舗）となりました。また、既存店におきましても積極的に改装を行い、当第3四半期連結累計期間（9ヵ月）における改装店舗は28店舗となりました。

当四半期における国内店舗の売上高増収率につきましては、全店で前年同期比9.5%増、既存店で前年同期比0.5%増となりました。昨年下半年から継続してきた価格訴求中心の戦略から、この下期より、店舗立地特性に応じた商品構成の見直しに加えて、テレビコマーシャルなどの販促を絡めて「クオリティ」や「ファッショントレンド」を全面に打ち出した付加価値のある商品訴求を強化いたしました。このような商品政策のもと、売上は既存店でプラスとなったほか、客単価においても商品戦略の効果により既存店、全店ともにプラスに転じました。当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）の売上高増収率については、全店で前年同期比8.9%増、既存店で前年同期比0.4%減となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）の国内における売上高は前年同期比8.0%増の813億76百万円、営業利益は前年同期比2.6%増の170億5百万円となりました。

② 海外

海外につきましては、韓国の連結子会社ABC-MART KOREA, INC. (12月決算) が当四半期に5店舗、当四半期累計期間(9ヵ月)で13店舗出店し、当第3四半期決算期末時点(平成22年9月30日)で76店舗(閉店4店舗)となりました。当四半期累計期間(9ヵ月)における同子会社の業績は、売上高は前年同期比35.7%増の99億29百万円、ウォンベースでの売上高は前年同期比41.0%増の1,349億13百万ウォンとなりました。

台湾の連結子会社ABC-MART TAIWAN, INC. (12月決算) (旧社名JOINT POWER INTERNATIONAL Ltd.) の当四半期累計期間(9ヵ月)における業績は、売上高は12億48百万円、台湾ドルベースでは4億65百万台湾ドルとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)の海外における売上高は前年同期比52.8%増の111億77百万円、営業利益は前年同期比85.9%増の20億85百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産等の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ190億92百万円増加し、672億24百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加による現金及び預金の増加105億97百万円及び商品の増加70億50百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ67億8百万円減少し、445億59百万円となりました。主な要因は、新規出店及び店舗改装に伴う有形固定資産の取得、及び関係会社株式の売却73億25百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億78百万円増加し、332億90百万円となりました。主な要因は、法人税等の支払による未払法人税等の減少33億13百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ114億5百万円増加し、784億94百万円となりました。主な要因は、自己株式の消却による自己株式の増加及びこれによる利益剰余金の減少、四半期純利益による利益剰余金の増加並びに配当金の支払による利益剰余金の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ105億66百万円増加し、350億83百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、31億19百万円の収入(前年同期比9億46百万円増)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益228億75百万円、減価償却費15億85百万円、関係会社株式売却益34億75百万円、たな卸資産の増加額71億86百万円、仕入債務の増加額20億26百万円、及び法人税等の支払による支出121億84百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、89億64百万円の収入(前年同期比212億43百万円増)となりました。この主な要因は、関係会社株式の売却による収入101億60百万円、有形固定資産の売却による収入35億89百万円、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出25億78百万円、敷金及び保証金の差入による支出20億19百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、14億80百万円の支出(前年同期比51億57百万円減)となりました。この主な要因は、短期借入金の純増加額13億84百万円及び配当金の支払による支出28億61百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績は概ね予定通りに推移しており、平成23年2月期第2四半期決算短信(平成22年10月6日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、重要な子会社ではありませんが、当第1四半期連結累計期間において、連結子会社1社及び非連結子会社1社増加しております。当第3四半期連結累計期間においては、持分法適用関連会社1社を除外しております。これにより、変更後の当社グループは、連結子会社5社、非連結子会社1社で構成されております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によりております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,201,243	24,604,206
受取手形及び売掛金	3,241,785	1,971,321
商品	25,010,103	17,959,884
繰延税金資産	921,158	938,148
その他	2,855,337	2,659,312
貸倒引当金	△5,306	△951
流動資産合計	67,224,321	48,131,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,050,708	13,719,140
減価償却累計額	△6,345,739	△5,689,719
建物及び構築物（純額）	8,704,968	8,029,420
車両運搬具及び船舶	443,416	439,218
減価償却累計額	△339,564	△313,213
車両運搬具及び船舶（純額）	103,852	126,004
土地	16,840,543	19,443,979
建設仮勘定	53,830	995
その他	2,473,388	2,141,449
減価償却累計額	△1,166,860	△969,991
その他（純額）	1,306,528	1,171,458
有形固定資産合計	27,009,723	28,771,859
無形固定資産		
のれん	467,372	—
その他	985,825	801,516
無形固定資産合計	1,453,197	801,516
投資その他の資産		
投資有価証券	385,310	138,324
関係会社株式	84,175	7,409,422
敷金及び保証金	14,225,743	12,964,586
その他	1,401,845	1,182,882
投資その他の資産合計	16,097,074	21,695,214
固定資産合計	44,559,995	51,268,591
資産合計	111,784,317	99,400,512

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,786,779	7,714,042
短期借入金	9,627,734	8,311,548
未払法人税等	3,134,627	6,447,847
賞与引当金	852,514	469,903
設備関係支払手形	827,685	945,579
その他	3,558,089	2,980,455
流動負債合計	27,787,432	26,869,376
固定負債		
長期借入金	5,011,200	5,000,000
その他	491,481	442,137
固定負債合計	5,502,681	5,442,137
負債合計	33,290,113	32,311,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482,930	3,482,930
資本剰余金	7,488,686	7,488,686
利益剰余金	65,542,112	77,146,432
自己株式	△235	△22,319,109
株主資本合計	76,513,495	65,798,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,019	17,435
繰延ヘッジ損益	—	△11,104
為替換算調整勘定	△802,468	△473,793
評価・換算差額等合計	△729,448	△467,463
少数株主持分	2,710,157	1,757,522
純資産合計	78,494,203	67,088,999
負債純資産合計	111,784,317	99,400,512

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	82,372,198	92,382,099
売上原価	35,085,840	38,151,522
売上総利益	47,286,358	54,230,577
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	999,695	1,241,005
広告宣伝費	3,578,868	4,668,803
保管費	605,042	814,524
役員報酬及び給料手当	8,486,502	9,886,561
賞与	159,617	210,778
賞与引当金繰入額	844,504	852,514
法定福利及び厚生費	995,036	1,153,667
地代家賃	7,707,451	8,741,430
減価償却費	1,392,208	1,585,789
水道光熱費	877,761	1,044,504
支払手数料	1,170,988	1,379,447
租税公課	313,219	397,962
貸倒引当金繰入額	300	321
のれん償却額	—	24,598
その他	2,507,771	3,071,209
販売費及び一般管理費合計	29,638,968	35,073,120
営業利益	17,647,390	19,157,456
営業外収益		
受取利息	13,162	12,778
為替差益	272,991	—
持分法による投資利益	177,151	—
貸貸収入	—	298,665
受取家賃	223,832	—
保険配当金等収入	35,585	5,973
広告媒体収入	62,130	51,800
その他	173,109	288,509
営業外収益合計	957,962	657,726
営業外費用		
支払利息	115,919	138,479
為替差損	—	123,293
持分法による投資損失	—	391,220
貸貸費用	140,364	145,122
その他	17,384	83,350
営業外費用合計	273,668	881,467
経常利益	18,331,684	18,933,716

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
特別利益		
固定資産売却益	—	924,435
関係会社株式売却益	—	3,475,693
保険解約返戻金	—	11,201
特別利益合計	—	4,411,329
特別損失		
固定資産売却損	—	82,552
固定資産除却損	30,622	40,511
減損損失	140,136	346,197
特別損失合計	170,758	469,261
税金等調整前四半期純利益	18,160,926	22,875,783
法人税、住民税及び事業税	7,561,442	8,926,774
法人税等調整額	△6,563	△26,848
法人税等合計	7,554,879	8,899,926
少数株主利益	504,438	399,080
四半期純利益	10,101,607	13,576,776

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,160,926	22,875,783
減価償却費	1,392,208	1,585,789
賞与引当金の増減額(△は減少)	418,540	382,611
貸倒引当金の増減額(△は減少)	300	3,980
受取利息及び受取配当金	△13,765	△117,454
支払利息	115,919	138,479
為替差損益(△は益)	△191,037	187,795
持分法による投資損益(△は益)	△177,151	391,220
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△3,475,693
固定資産除売却損益(△は益)	30,622	△801,371
減損損失	140,136	346,197
保険配当金等収入	△35,585	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,612,772	△1,352,513
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,026,646	△7,186,180
仕入債務の増減額(△は減少)	△281,319	2,026,770
その他	△614,033	234,809
小計	11,306,342	15,240,226
利息及び配当金の受取額	18,717	7,526
持分法適用会社からの配当金の受取額	—	187,203
利息の支払額	△95,622	△131,487
法人税等の支払額	△9,056,829	△12,184,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,172,607	3,119,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△46,586
定期預金の払戻による収入	196,252	11,761
投資有価証券の取得による支出	△49,759	—
投資有価証券の売却による収入	—	4,387
有形固定資産の取得による支出	△4,779,239	△2,578,524
有形固定資産の売却による収入	—	3,589,547
無形固定資産の取得による支出	△36,864	△312,622
店舗撤去に伴う支出	△6,697	△25,291
関係会社株式の取得による支出	△6,832,258	—
関係会社株式の売却による収入	—	10,160,000
保険積立金の積立による支出	△943	—
保険積立金の満期及び解約による収入	67,285	—
貸付けによる支出	△212,867	△252,000
貸付金の回収による収入	19,803	28,565
敷金及び保証金の差入による支出	△1,185,331	△2,019,423
敷金及び保証金の回収による収入	289,786	522,582
その他の支出	△54,483	△175,140
その他の収入	306,708	57,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,278,608	8,964,738

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,162,375	1,384,789
長期借入れによる収入	5,000,000	—
配当金の支払額	△2,484,719	△2,861,186
自己株式の取得による支出	△280	—
その他	—	△4,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,677,374	△1,480,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,838	△36,785
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,388,787	10,566,794
現金及び現金同等物の期首残高	21,446,497	24,516,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,057,709	35,083,027

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年11月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年11月30日）

当社グループは、主に靴を中心とした商品の販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年11月30日）

	日本 (千円)	韓国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	75,093,910	7,278,287	82,372,198	—	82,372,198
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	279,725	39,424	319,150	(319,150)	—
計	75,373,636	7,317,712	82,691,349	(319,150)	82,372,198
営業利益	16,576,944	1,121,642	17,698,586	(51,196)	17,647,390

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年11月30日）

	日本 (千円)	韓国 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	81,208,091	9,925,728	1,248,280	92,382,099	—	92,382,099
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	168,046	3,931	—	171,977	(171,977)	—
計	81,376,137	9,929,659	1,248,280	92,554,077	(171,977)	92,382,099
営業利益	17,005,184	1,748,951	336,666	19,090,802	66,654	19,157,456

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 「その他の地域」は、台湾であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

	韓国 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	7,317,712	549,919	7,867,632
II 連結売上高	—	—	82,372,198
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.9	0.7	9.6

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 「その他の地域」は、香港、台湾であります。
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	韓国 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	9,925,728	1,251,079	11,176,808
II 連結売上高	—	—	92,382,099
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.7	1.4	12.1

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 「その他の地域」は、香港、台湾であります。
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年3月15日開催の取締役会において、自己株式を消却することを決議し、次のとおり自己株式を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ22,319,109千円減少しております。

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| (1) 消却した株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 消却した株式の総数 | 8,332,889株(消却前の発行済株式総数に対する割合 9.96%) |
| (3) 消却実施日 | 平成22年3月31日 |

4. 補足情報

品目別販売実績

当第3四半期連結累計期間における品目別の販売実績は以下のとおりであります。

品目別	前第3四半期連結累計期間 (千円)	当第3四半期連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
スポーツ	42,299,300	46,151,220	9.1
レザーカジュアル	11,261,762	13,132,357	16.6
レディース	11,312,270	12,548,544	10.9
ビジネス	5,986,850	6,897,251	15.2
キッズ	4,665,103	5,110,266	9.5
サンダル	2,956,485	3,253,537	10.0
その他	3,890,425	5,288,920	35.9
売上高合計	82,372,198	92,382,099	12.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2011年2月期 第3四半期 決算データ資料
(期間: 2010年3月1日~2010年11月30日)

1. 連結経営成績

(単位:百万円,%)

	前年同四半期累計 (2010年2月期第3四半期)			当四半期累計 (2011年2月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	82,372	100.0	13.7	92,382	100.0	12.2
売上総利益	47,286	57.4	14.8	54,230	58.7	14.7
販管費合計	29,638	36.0	16.5	35,073	38.0	18.3
営業利益	17,647	21.4	12.0	19,157	20.7	8.6

(参考)

(単位:百万円,%)

前年通期 (2010年2月期)			当期(計画) (2011年2月期)		
金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
113,507	100.0	16.6	126,000	100.0	11.0
64,476	56.8	17.9	72,860	57.8	13.0
40,290	35.5	17.0	46,810	37.2	16.2
24,186	21.3	19.6	26,050	20.7	7.7

2. 単体経営成績

(単位:百万円,%)

	前年同四半期累計 (2010年2月期第3四半期)			当四半期累計 (2011年2月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	75,311	100.0	13.3	81,239	100.0	7.8
売上総利益	43,415	57.6	14.9	48,228	59.4	11.1
販管費合計	27,017	35.8	15.5	31,423	38.7	16.3
営業利益	16,398	21.8	13.8	16,805	20.7	2.5

(参考)

(単位:百万円,%)

前年通期 (2010年2月期)			当期(計画) (2011年2月期)		
金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
103,371	100.0	14.3	110,440	100.0	6.8
58,899	57.0	15.9	64,300	58.2	9.2
36,612	35.4	13.8	41,520	37.6	13.4
22,287	21.6	19.5	22,780	20.6	2.2

*営業収入は売上高に含めています。

3. ABC-MART KOREA経営成績

(単位:百万won,%)

	前年同四半期累計 (2009年12月期第3四半期)			当四半期累計 (2010年12月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	95,656	100.0	34.9	134,913	100.0	41.0
売上総利益	51,255	53.6	28.6	72,590	53.8	41.6
販管費合計	37,063	38.7	38.3	50,576	37.5	36.5
営業利益	14,192	14.8	8.7	22,013	16.3	55.1

(参考)

(単位:百万won,%)

前年通期 (2009年12月期)			当期(計画) (2010年12月期)		
金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
133,456	100.0	39.1	182,366	100.0	36.6
71,527	53.6	34.6	99,588	54.6	39.2
50,983	38.2	42.8	71,145	39.0	39.5
20,543	15.4	17.8	28,442	15.6	38.5

(単位:百万円,%)

	前年同四半期累計 (2009年12月期第3四半期)			当四半期累計 (2010年12月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
09.9実績 100w=7.65円	7,317	100.0	21.3	9,929	100.0	35.7
10.9実績 100w=7.36円	3,921	53.6	15.6	5,342	53.8	36.3
販管費合計	2,835	38.7	24.3	3,722	37.5	31.3
営業利益	1,085	14.8	▲2.3	1,620	16.3	49.2

(参考)

(単位:百万円,%)

前年通期 (2009年12月期)			当期(計画) (2010年12月期)		
金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
10,529	100.0	51.0	13,677	100.0	29.9
5,643	53.6	46.1	7,469	54.6	32.3
4,022	38.2	55.0	5,335	39.0	32.6
1,620	15.4	27.8	2,133	15.6	31.6

*ABC-MART KOREAは12月決算であります。

*09.12実績 100won=7.89円 *10.12修正予算 100won=7.50円

4. 国内店舗推移

	2010年2月期	2010年11月(第3四半期)			
	期末	出店	閉店	期末	割合
路面店	90	2	5	87	15.2%
商業ビル	75	15	3	87	15.2%
S C	228	29	2	255	44.6%
N S C	49	7	1	55	9.6%
ロードサイド	31	20	2	49	8.6%
アウトレット	34	6	1	39	6.8%
計	507	79	14	572	100.0%

5. ABC-MART KOREA店舗推移

	2009年12月期	2010年9月(第3四半期)		
	期末	出店	閉店	期末
直営店	60	11	2	69
百貨店	5	2	0	7
F C	2	0	2	0
計	67	13	4	76

*ABC-MART KOREAは12月決算であります。